

2023 年度日本海洋学会第 2 回幹事会議事録

日時: 2023 年 7 月 28 日 (金) 13:30~17:00

場所: Zoom を利用したオンライン開催

出席者: 江淵会長、原田副会長、伊藤、岡(顕)、岡(英)、川合、久保川、齊藤、土井、中野、安中、渡部、事務局(毎日学術フォーラム: 平坂、米岡)

議題

1. 議事録確認(中野幹事)

2023 年度の第 1 回幹事会、春季評議員会、及び通常総会の議事録が確認され、承認された。

2. 審議事項

(1) 入退会について(岡(英)幹事)

2023 年 4 月から 2023 年 5 月の入会者(14 名)と退会者(8 名)が承認された。2023 年 5 月末時点の会員数は、1390 名。

(2) シンポジウムの後援・協賛等について (岡(英)幹事)

後援・協賛等について 3 件の依頼があり、承認された。

(3) 募集・推薦等の依頼(岡(英)幹事)

公募・推薦 14 件、シンポジウム・講演等について 4 件、転載許諾 1 件、その他 10 件の依頼があり、学会ホームページに公開し、メーリングリストに配信等の対応をしたことが報告された。公募については目立つようにホームページのレイアウト変更を検討することとなった。

(4) 名誉会員の推薦について (岡(顕)幹事)

名誉会員の推薦について提案され、承認された。

(5) その他

原田副会長より「国連海洋科学の 10 年 (UNDOS)」を推進する活動を海洋学会として考える試みが具体的な取り組み案と共に提案され、承認された。

3. 報告事項

(1) 会長(江淵会長)

道田豊会員が IOC 議長に先取された兼が報告され、祝意が示された。法人化に向けた取り組みとして、定款案・細則案へのコメント対応は専門家へ依頼中であること、理事¹の増員は行わず、理事会推薦の際に、地域・ジェンダーバランスについてのコメントを添える予定であること、現在の幹事の役割分担マニュアルをもとに法人化後の理事の役割分担マニュアルの整備を進めていくこと、臨時総会招集のための臨時幹事会を 8 月

¹現組織の「幹事」「幹事会」の役割は、法人化後は「理事」「理事会」によって担われる。

下旬に行う予定であることが報告された。大型計画として学術会議のマスタープラン 2023 及び文科省のロードマップ 2023 への取り組みが報告された。

(2) 吉田賞について (岡(顕)幹事)

吉田賞の今年度の運用方針について報告された。

(3) 会計(伊藤幹事)

海洋学会の口座の名義変更が終了したことが報告された。

(4) 集会(中野幹事)

吉田賞等の進捗および、秋季大会における会食の制限について報告された。

(5) 研究発表(土井幹事)

秋季大会およびそれ以降の大会の準備状況について報告された。

(6) 編集

① JO(齊藤編集委員長)

JO(Vol.77(1) から Vol.79(3))の発行状況、投稿・受理状況およびインパクトファクターの推移について報告された。

② 海の研究(久保川編集委員長)

海の研究 Vol.32 3,4 合併号を 8 月下旬出版予定であること、現在の投稿状況、及び J-Stage への登録を外注したことが報告された。メールによる二回の編集委員会で承認された事項として、「解説」というカテゴリーを新たに設けること、及び投稿規定等の改訂が提案され、評議員会へ提出の準備を進めることとなった。

(7) 広報委員会(川合幹事)

JpGU の展示ブースの出展について報告された。

6 月 16 日に行われた第二回広報委員会において、来年度の JpGU 展示ブースの新規企画、2024 年度秋季大会での企画立案、ウェブサイトの更新、及び学会パンフレットの更新について議論されたことが報告された。他の活動との重複に留意することも議論された。

(8) 海洋観測ガイドライン編集委員会(長谷川幹事)

4 月 5 日に編集委員会を開催したこと、JpGU の海洋学会広報ブースに印刷版を展示したこと、和文第五版を Web 公開したこと、及び今後の活動予定について報告された。

(9) 海洋環境問題委員会(安中幹事)

秋季大会の前日に 50 周年記念シンポジウムを開催することが報告された。

(10) 教育問題研究会(川合幹事)

女子中高生夏の学校(8/6)に参加予定であること、サイエンスアゴラ(11/18-19)に申し込んだこと、及び秋季大会にて COSIA イベントのセッション提案を行ったことが報告された。

(11) 海洋生物学研究会(渡部幹事)

発表証明書(英文)の発行依頼を受けて作成した手順が報告された。また、英語での発表証明書の発行に伴い、研究会およびシンポジウムの英語名称を規定する会則の改定を行う予定であることが報告された。

(12) 男女共同参画 (岡(英)幹事)

昨年度は若手女子会員向けの「Inclusion 海かふえ」を2度オンライン開催したが、今年度の秋季大会では個別相談会を参加対象を男性にも広げて開催予定であることが報告された。

(13) 水産・海洋科学研究連絡協議会 (江淵会長)

6月16日に第1回を開催し、ロードマップ2023へのサポートを依頼したことが報告された。

(14) 若手支援(原田副会長)

若手研究者と幹事との話し合いを秋季大会3日目の昼休みに行う予定であることが報告された。

(15) リクルート戦略WG(渡部幹事)

進路相談対応についての報告があり、海洋学会員のリクルートに繋がるより効果的な方法を検討したいとの報告があった。

以上